

学校事務の共同実施による業務の効率化

中核校	登別市立幌別小学校	指定校	登別市立幌別東小学校 登別市立幌別中学校
-----	-----------	-----	-------------------------

実践前の状況

- ・会計事務や印刷業務など校内の様々な業務に積極的に取り組み、教職員の業務縮減の実現に一翼を担うが、中核校におけるミッションに止まっていた。
- ・指定地域内の事務職員の情報共有や交流について、学校事務の効率化を図るため文書や様式などを収納する共通フォルダはなく、業務を共同して実施しようとする意識が希薄であった。

実践の概要

業務改善を進める職域レベルの向上

- ・事務職員が学校事務に従事するレベルからアップデートし、会計、印刷、入力・集計、情報管理業務へと職域を拡大しながら業務軽減に寄与しようと教員へ自ら積極的に関わった。
- ・教育活動や学校運営に専門性を生かして参画し、校内のICT推進、学校統合における連絡・調整、学校事務の共同実施など、校内外の業務改善に係る提案を行った。

ICTを活用した共同実施に向けた取組

- ・中核校と指定校間の情報ネットワークを確立し、当市の事務処理に係る様式その他、学校統合に向けたスケジュール管理や会議録など、具体的な取組の共有化を行った。
- ・市教研の事務部会や第4回地域協議会において市内の事務職員の参加を得て実践や成果を発表し、共同化に向けた事務職員間の意識を高めた。



【事務職員を講師にしたICT研修会】



【指定地域内における事務職員研修会】

実践の充実に向けた取組の工夫

〔校長の取組〕

- ・校内のICT化の推進に当たり、担当チームの構成員とした。市教委や校内の連絡調整はもとより、教員のニーズを束ねながら、機器の活用促進と環境形成の先導役となって、業務を進められるように役割と仕組みを整え周知した。
- ・指定地域内の事務職員間の情報交流が円滑に行われるようマネジメントを行った。中核校のミッション加配事務職員として一層職域を広げるよう指示する一方、ミッション加配事務職員からの学校事務の効率化、教頭業務支援の具申を取り入れた。

〔加配事務職員の取組〕

- ・日々のブラッシュアップにより得たことを基に、職員に新しいICT技術を紹介したり、使い勝手のよいシステムを構築したりすることで、職員間や指定地域内の事務職員間の情報交流がスムーズに行えるようにし、業務の効率化を図った。
- ・会計、印刷、入力・集計、情報管理等の面で学級担任との連携を密に業務を進め、学校力向上総合実践事業の事務職員情報交流会（第2回）や地域協議会（第4回）で成果を発表し、広く普及・啓発を行った。

成果（ ）と今後の課題（ ）

内部評価において、「ミッション加配事務職員は役割を果たしている」の質問に全ての職員が「とても思う」と回答し、業務軽減を実感しているとともに、「事務職員も学校教育と一緒にいるチーム」という理解が教職員にも浸透し、ミッション加配事務職員のモチベーションをさらに高めている。

指定地域内の事務職員が参集した研修において、ミッション加配事務職員の実践発表を基にした協議では、業務の共同化、効率化の視点から様々な意見が出され、一体となって取組を進める機運が醸成された。

立ち上げた登別市事務職員サイトの運用や活用、業務効率化に向けた一層のICT活用を進める情報収集と環境性、校内外への発信を行っていく必要がある。